

第5次泉大津市総合計画策定に向けたワークショップ つむぐ ひろがる #おづの未来ラボ ～集大成編～ 意見概要
 「総合計画をみんなに知ってもらうため、どんな伝え方・見せ方をすれば興味・関心をもってもらえるか」を議論いただき、以下のような意見がありました。

◆「総合計画」を知る

- ・興味を持つ（きっかけが大切）
- ・調べる
市の広報紙特集、SNS、気になるキーワード検索、デジタルサイネージ、イベントで知る、チラシ、FMいずみおおづ、おづぶらざ

◆伝わりやすい媒体を作る

- ・チラシ・パンフレット、ポスティング
- ・ダイジェスト版作成
- ・歌にする、ダンスにする
- ・話したくなるエピソードを
- ・動画、アニメーション
- ・スローガン
- ・マーク（コンビニ、スーパー、お店ひったくり防止カバー、Tシャツ）
- ・電車（ラッピング、中吊広告）
- ・おづみんの花火、カチューシャ
- ・うちわ
- ・ネーミングが課題→おづみんプラン
- ・鳳大社の先を見通すお守りのような物

◆「総合計画」を伝える（個人で）

- ・SNSで発信（Facebook、インスタ、X）
- ・知り合いに口コミで伝える。
- ・家庭の食事時など、家族会議で伝える。（日程を決めておく）
- ・伝える場所を探す
- ・子どもに拡散してもらう
- ・話す機会・場を作る

◆伝わりやすいとは何か

- ・おかたい雰囲気をやめて親しみやすく
- ・イラスト多く漢字ばかりじゃない
- ・やわらかく分かりやすい言葉に
- ・おづみんに紹介してもらう
- ・ターゲットに合わせる
- ・有名人、YouTuber、（ゲーム：マイクラを使う）

◆「総合計画」を伝える（みんなで）

- ・スローガンが目につく環境を
- ・自治会を通して説明する
- ・地域の掲示板に掲げる
- ・公共施設や公共交通でも掲示する
- ・団体などのトップにまず知ってもらう
- ・子ども会など団体に配る（知らせる）
- ・知ってもらう機会を増やす
- ・市民・行政 皆で勉強会
- ・広めたら割引クーポン(アスマイル等)
- ・学校の授業やスピーチ大会
- 【イベントでの周知】
- ・アスマイルをもらえる
- ・〇〇に近いで ええとこやで選手権
- ・子どもフェス
- ・部活発表（保護者が来る）
- ・ライブ会場の別活用
- ・集客力の高いイベント（花火）無料

◆情報伝達をスムーズにする

- ・LINEやインスタの使い方を多世代に教える
- ・行政と市民をつなぐ方を育てて情報を公有する（市民サポーターを育てる）

◆伝えやすい関係性の構築

- ・あいさつ運動 横のつながり
- ・商店街など地域との関わり

◆「総合計画」にある行動で示す

- ・計画に示された取組みを行動で示す
- ・家や庭など外回りの整理整頓
- ・垂れ幕のデザインを若者から募集
- ・公園の清掃

総合計画素案の感想・意見

基本構想にある基本理念のうちの一つ「知識のアップデート」が、実際にワークショップに出た人でないと、ニュアンスが分かりにくいと思う。「知識のアップデート」という言葉をそのまま使うのか、別の言葉が良いのか、説明文で細かく記述するか、より工夫いただきたい。

また、積極的に検討いただきたい案として以下が示されました。

本計画の趣旨やその内容が広く親しまれる計画となるよう、「愛称」をつける方がよい。